

多摩市まるっと協議体（第1層協議体）の活動、進行中

多摩市まるっと協議体（第1層協議体）の活動を報告する。移動の課題について、地区自治会は公共交通機関の拡充の対応を市に求めていたが、地域懇談会を通し、住民主体で課題解決に取り組むことを支援し、定年世代の地域活動デビューを進める啓発活動を行った。その他の活動についても紹介したい。

多摩市まるっと協議体（第1層協議体）の活動、進行中

生活支援体制整備事業（第1層SC）受託団体 一社）多摩マイライフ包括支援協議会

多摩市まるっと協議体（第1層協議体）は、
Mission1 地域を限定して移動の仕組みを開発する
Mission2 地域住民への啓発活動を推進する +その他である。

Mission1

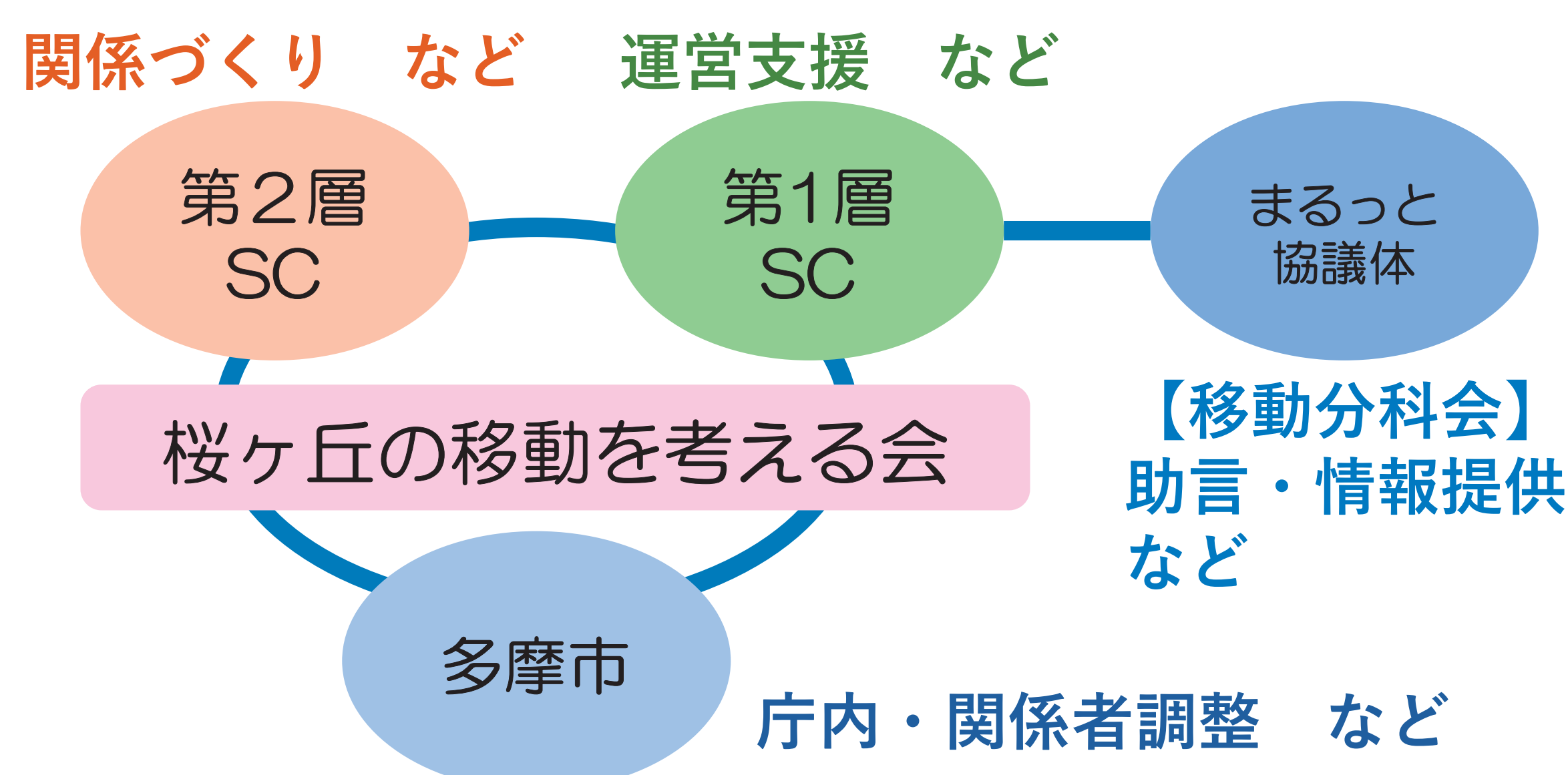
公共交通機関の拡充の要望から、住民の支え合いの仕組みへの転換
移動支援と住民活動を支援する「実証実験」開始

『桜ヶ丘地区』の住民によるワークショップにて、
●急坂や階段の移動のサポートができると良い
●バス停と自宅の移動が大変。買物に困る
●近所の人が集まって活動ができる居場所を増やしたい
などの課題が出されていた。

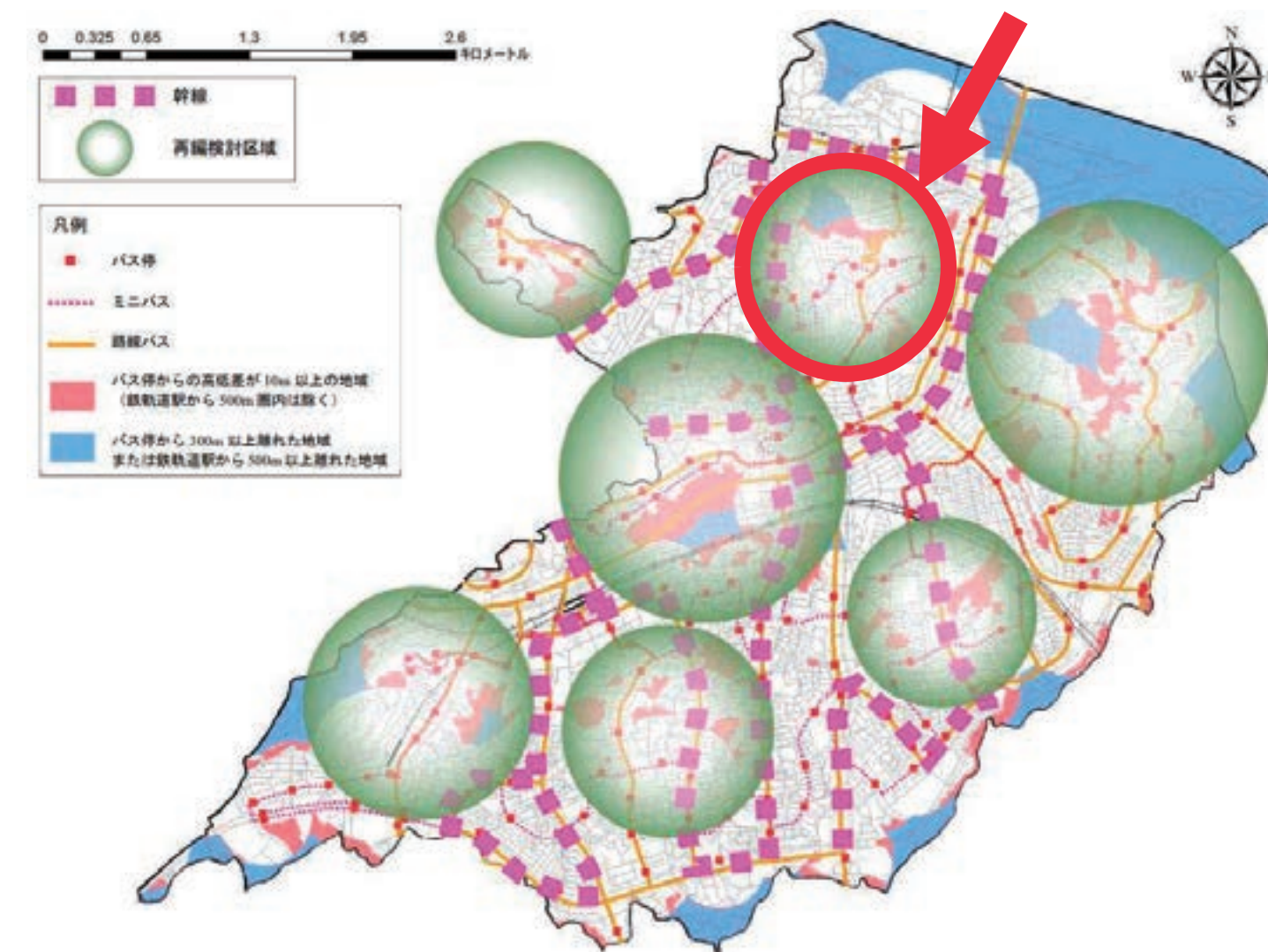
地区自治会が市に対して、公共交通機関の拡充を要望しており、市も対応策を検討していた。

市と連携し、桜ヶ丘地区で移動に関する地域懇談会を開催。助け合いの仕組みによる移動の課題解決を模索した。

自治会が「桜ヶ丘の移動を考える会」を立ち上げ、住民主体で課題解決に取り組むことになり、第1層SC、第2層SCと市は活動を支援している。



桜ヶ丘地区



多摩市交通マスタープラン2018:再編検討区域



【実証実験の様子】

Mission2
地域活動デビューの背中を押す
啓発冊子作成

定年世代をターゲットに、地域活動の啓発ツールを作成。
QRコードを掲載し、紙とネットから情報アクセスできるように工夫した。



全12ページ 市内公共施設等で配布
URL:<http://tama-mylife.com/>

こちらから →



その他

- 住民主体による訪問型サービスの生活サポーターは2年間で48名増え、累計247名を養成
- 閉じこもりによるフレイル予防対策として、介護予防体操のチラシを26,500部配布
- 多摩市は、公式YouTubeにて、体操その他の情報の配信を開始

新型コロナウイルス感染症により、地域活動が制限されている状況ですが、継続して活動しています。